

## 自家用電気工作物保安業務

電気事業法（昭和 3 9 年法律 1 7 0 号）、同施行規則（昭和 4 0 年通商産業省令第 5 1 号）及び保安業務受託規定（通商産業大臣承認 4 1 公第 1 7 6 7 号）（以下「法令等」という。）に定めるもののほか、下記に定めるところにより実施するものとする。

### 1. 業務概要

施設の自家用電気工作物が法令に定める基準に適合するよう維持し、及び保安を確保するため、別表第 1 に掲げる電気工作物について、別表第 2 に掲げる点検等を実施し、自家用電気工作物の維持に関し必要な指導及び助言を行うことを目的とする。

### 2. 一般留意事項

- (1) 業務の実施に当たり必要とする機器及び消耗品は、受託者の負担とする。
- (2) 業務の実施に当たり、受託者は施設の運営に支障をきたさないよう十分に注意しなければならない。

### 3. 従事職員

- (1) 受託者は、この業務を実施する者（以下「保安技術員」という。）の名簿を当組合に提出しなければならない。
- (2) 前項の保安技術員は電気主任技術者免状を所有する者でなければならない。

### 4. 点検等の実施時間

この業務に係る点検等の実施は、原則として平日の午前 8 時 1 5 分から午後 5 時までの間に行うものとする。

### 5. 事故発生の措置

受託者は、自家用及び一般用電気工作物に事故が生じた場合は必要な措置をとるほか、総括責任者に応急処置の方法について指導するとともに、事故原因の究明に協力し、再発防止のためにとるべき措置を指示し、又は助言し、かつ、必要に応じて精密検査を実施するものとする。

### 6. 電気工作物検査官による検査

- (1) 電気事業法第 1 0 4 条に規定する電気事業検査官による検査が実施されることがなった場合、受託者は提出書類の作成及び検査に立会わなければ

ならない。

- (2) 受託者は、前項の提出書類を作成した場合は、提出前に当組合の承認を受けなければならない。

#### 7. 受託者の提出書類及び提出時期

受託者は、点検等の修了後速やかに次の書類を当組合に提出するものとする。

- (1) 電気設備点検記録書（受託者が定める様式） 1 部（月次点検後）
- (2) 電気設備年次・臨時点検記録書（同上） 1 部（年次点検又は臨時点検後）

別表第1

## 自家用電気工作物の設備概要

施設名	所在地	自家用電気工作物の状況							
		受電設備の内訳					非常用予備発電装置		
		業 務	契約種別	契約電	電 圧	使用月	有無	出力	電圧
三戸地区衛生センター	南部町 相内字屋敷久保121-8	し尿処理	業務用	350 KVA	6,600V	通 年	有	52KW	200V

## 巡視、点検及び試験の基準(需要設備)

○印は各点検の該当項目を示す。(注12)

電気工作物		点検項目 (注1)	定期点検		臨時点検
			月次点検	年次点検	必要の都度
			月1回 (注2)	年1回	
受	責任分界となる区分 開閉器、断路器 (注3)	外観点検	○	○	
		絶縁抵抗測定 (注4)		○	
		動作試験 (注5)		○	
		結合動作試験 (注6)		○	
		保護継電気動作特性試験			○
電	引込線等	外観点検	○	○	
		絶縁抵抗測定 (注4)		○	
設	断路器 遮断機 開閉器	外観点検	○		
		絶縁抵抗測定 (注4)		○	
		動作試験 (注5)		○	
		結合動作試験 (注6)		○	
		内部点検			○
		絶縁油の点検、試験			○
		電力ヒューズ	外観点検	○	○
	絶縁抵抗測定 (注4)		○		
	計器用変成器	外観点検	○	○	
		絶縁抵抗測定 (注4)		○	
備	変圧器	外観点検	○	○	
		絶縁抵抗測定(注4,注8)		○	
		内部点検			○
		絶縁油の点検、試験			○
	電力用コンデンサ 直列リアクトル	外観点検	○	○	
		絶縁抵抗測定 (注4)		○	
	避雷器	外観点検	○	○	
絶縁抵抗測定 (注4)			○		
母線 バスダクト等	外観点検	○	○		
	絶縁抵抗測定 (注4)		○		
その他の高圧機器	外観点検	○	○		
	絶縁抵抗測定 (注4)		○		
配電盤 制御回路	外観点検	○	○		
	指示計測	○			
	絶縁抵抗測定 (注4)		○		
	保護継電気動作特性試験			○	

電気工作物		点検項目 (注1)	定期点検		臨時点検
			月次点検	年次点検	必要の都度
			月1回 (注2)	年1回	
受電設備	配電盤制御回路	計器校正試験			○
		シーケンス試験 (注6)		○	
	建物、室、キュービクル等の金属箱	外観点検	○	○	
	接地装置	外観点検	○		
		漏洩電流測定 (注13)	○	○	
		接地抵抗測定 (注7)		○	
配線設備	電線路	受電設備の引込線等に準ずる	同左	同左	同左
	断路器、遮断器、開閉器、電力ヒューズ計器用変成器、変圧器電力用コンデンサ等避雷器、母線等その他の高圧機器配電盤等建物、室、キュービクル等	受電設備に準ずる	同左	同左	同左
	接地装置	受電設備に準ずる	同左	同左	同左
電気使用場所の設備	電動機	外観点検	○	○	
		絶縁抵抗測定 (注9)		○	
	電熱装置	外観点検	○	○	
		絶縁抵抗測定 (注9)		○	
	電気溶接機	外観点検	○	○	
		絶縁抵抗測定 (注9)		○	
	照明設備	外観点検	○	○	
		絶縁抵抗測定 (注9)		○	
	配線及び配線器具	外観点検	○	○	
		絶縁抵抗測定 (注9)		○	
		保護継電気動作特性試験			○
注10	その他の機器類	外観点検	○	○	
		絶縁抵抗測定 (注9)		○	
11	接地装置	外観点検	○	○	
		絶縁抵抗測定 (注9)		○	

電気工作物		点検項目 (注1)	定期点検		臨時点検
			月次点検	年次点検	必要の都度
			月1回 (注2)	年1回	
非常用予備発電装置	原動機及び付属装置	始動試験	○	○	
		機関保護継電器動作試験		○	
		外観点検	○	○	
		絶縁抵抗測定		○	
	遮断器 開閉器 配電盤 制御装置	外観点検	○	○	
		動作試験 (注5)		○	
		総合動作試験 (注6)		○	
		保護継電器動作試験			○
		シーケンス試験 (注6)		○	
		その他受電設備に準ずる	同左	同左	同左
	建物、室、キュービクル等の金属箱 接地装置	外観点検	○	○	
		外観点検	○	○	
		接地抵抗測定 (注7)		○	
	蓄電池	外観点検	○	○	
		電圧測定	○		
		比重、液温設定		○	
	充電装置及び 付属装置	外観点検	○	○	
		絶縁抵抗測定 (注9)		○	

(注1) 各項目の点検方法については、保安協会が定める点検指針等による。

(注2) 移動用の非常用予備発電装置を接続しない期間にあっては、6か月に1回の点検とする。

(注3) 充電部分の絶縁抵抗測定は、省略することがある。

(注4) 当事業場の停電が困難な場合にあっては、3年に2回以内において、受託者と協議のうえ、部分放電検出等による絶縁診断に替えることがある。

(注5) 当事業場の停電が困難な場合にあっては、3年に2回以内において、受託者と協議のうえ、保護継電器制御回路の測定試験、及びテスト鉗又は接点メーク等による保護継電器単体試験に替えることがある。

(注6) 受電設備・非常用予備発電装置にあっては、3年に1回、それ以外の設備にあっては、必要の都度行う。

(注7) 過去の測定結果により、省略することがある。

(注8) 変圧器の二次側により主開閉器電源側を一括絶縁抵抗測定する場合であって、当該電路の接地線の取外しが困難なときは、省略することがある。

(注9) 次のいずれかの場合において、絶縁状況が良好と認められるときは、受託者と協議のうえ一部又は全部を省略することがある。

(1) 絶縁常時監視装置・漏電監視装置等による監視又は漏電遮断器を設置する場合

(2) 3年に2回以内において、当事業場の停電が困難で、かつ、低圧漏電メモリー等による監視を行う場合